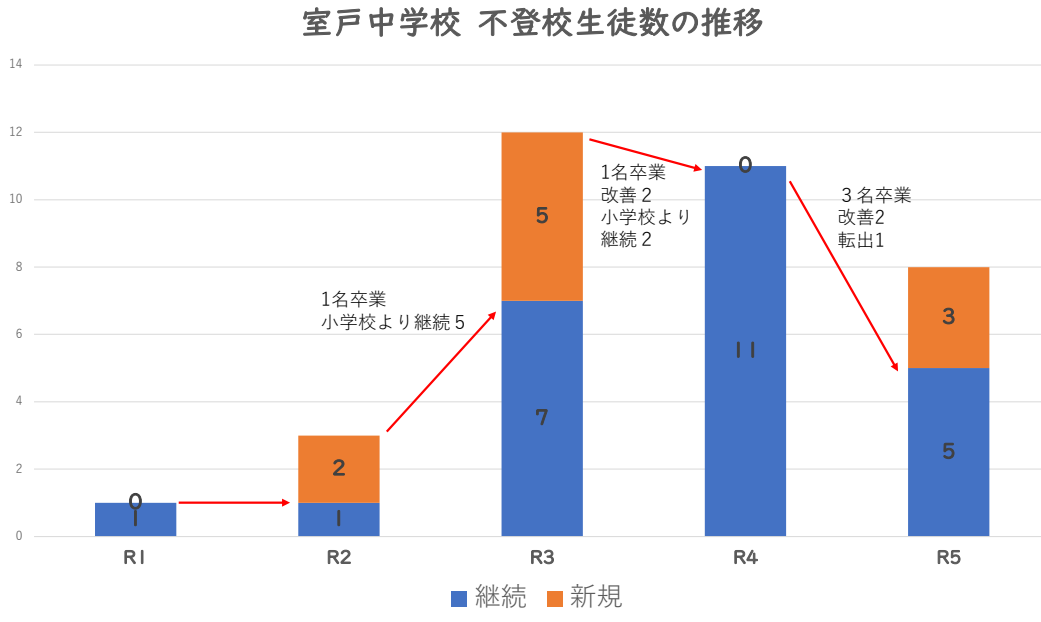
第4回(R6.9.26)追加資料3

不登校の未然防止に関する室戸中学校の取組

R6.9.26 室戸中学校
小松 武志



室戸中学校の欠席者対応について

欠席数1日目

【連絡あり】
- ・欠席の理由の把握
- ・学年内での情報共有

【連絡なし】
- ・朝の段階で担任あるいは副担任が家庭への連絡
- ・夕方、家庭への連絡。翌日の時間割等の伝達登校に向けた配慮
- ・朝、夕の状況を学年内で共有

欠席数2日目
- ・生徒の様子保護者から確認し、休みの要因を把握する
- ・電話対応の状況によっては家庭訪問を行う
- ・学年内での情報共有

欠席数3日目
- ・欠席理由にもよるが家庭訪問行う
- ・SCとの連携及び校内支援会議の案件とするかの検討を行う

・気になることがあれば些細なことでも管理職と情報共有
・担任一人に任せきらず複数教員での対応

校内適応指導教室①

教室に入ることができない生徒や、教科によって教室での一斉授業ではなく個人のペースで学習を進めたい生徒が学習する教室



タブレットや学習教材を準備
（個人の進度に合わせて）



校内適応指導教室②
　一人で自分のペースで学習を進めたい生徒



室戸市教育支援センター　ふれあい教室との連携



通室状況

R5年度
　3年生：3名　2年生：2名

R6年度
　3年生：2名

【県指定事業】

こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業について

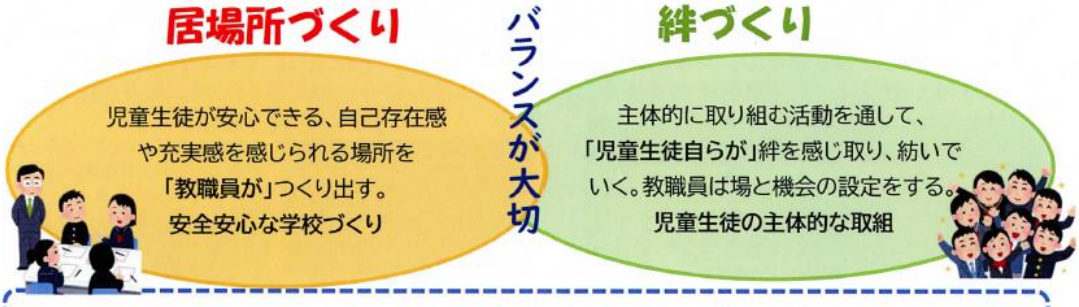
こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業

室戸市は、「魅力ある学校づくり」に全教職員で取り組み、
新たな不登校を０（ゼロ）にします。

- 子どもが、明日も行きたくなる学校づくりを目指します。
- 今やっていることを、生徒指導の４視点と「居場所づくり」「絆づくり」を意識しながら組織で取り組みます。
- 子どもたちの声（意識調査）を手がかりとして、教職員で子どもの声に耳を傾け、認知のズレがないか PDCA サイクルを回して「問い直し」していきます。
- 子どもが中学校に希望を持って進学できるよう、小中連携の充実を図ります。
- 全教職員は上の取組を理解し、「チーム学校」で協働していきます。

「魅力ある学校づくり」を進めていくための取組

児童生徒は、学校生活を過ごす中で、「楽しい」「うれしい」ことばかりではなく、「学習が分からない」「人間関係が不安」といった困難や課題等、様々な経験をします。また、環境的要因から、学校に行きづらい背景にある児童生徒もいます。様々な事情があっても、児童生徒一人一人が「明日も学校に行きたい」と思えるような魅力ある学校づくりを進めていくために、教職員が児童生徒にとって、安全・安心な場を提供する「居場所づくり」と、児童生徒が主体的に取り組み、互いに絆を深めていく「絆づくり」の２つの取組があります。



「つくる」の「主語」が教職員なのか、児童生徒なのかが大きな違い

昨年度の取組について

室戸中学校　取組①

・学校行事（体育大会）→ 全校の取組を見える化





室戸中学校　取組①

生徒主体で発信を！

生徒会・専門委員会の掲示板コーナー





室戸中学校　取組②

•授業 → 生徒指導の4つの視点

自己存在感を感受できる配慮

児童生徒が「自分も一人の人間として大切にされている」という実感

共感的人間関係の育成

自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる人間関係

自己決定の場の提供

児童生徒が自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する等の体験

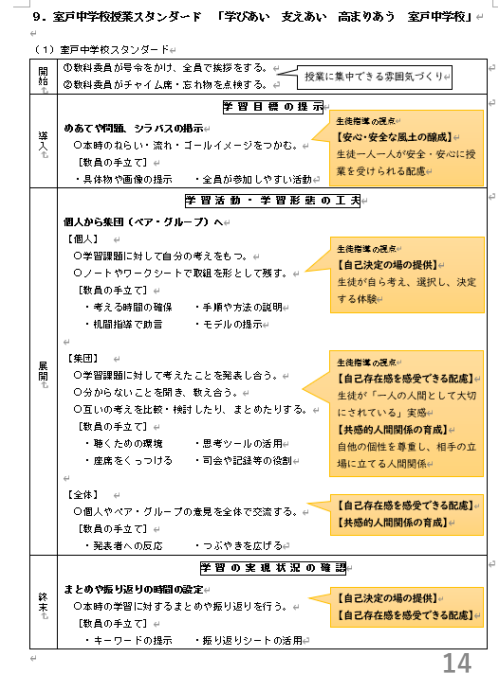
安全・安心な風土の醸成

児童生徒一人一人が安全かつ安心して教育を受けられる配慮

室戸中学校　取組②

生徒指導の4つの視点を生かした授業スタンダード

今やっていることを、何のためにしているのか意識して行う。



9．室戸中学校授業スタンダード　「学びあい　支えあい　高まりあう　室戸中学校」

（1）室戸中学校スタンダード

開始
①教科委員が号令をかけ、全員で挨拶をする。
②教科委員がチャイム席・忘れ物を点検する。
授業に集中できる雰囲気づくり

導入
学習目標の提示
めあて・問題、シラバスの提示
○本時のねらい・流れ・ゴールイメージをつかむ。
【教具の手立て】
・具体物や画像の提示　・全員が参加しやすい活動
生徒指導の視点
【安心・安全な風土の醸成】
生徒一人一人が安全・安心に授業を受けられる配慮

展開
学習活動・学習形態の工夫
個人から集団（ペア・グループ）へ
【個人】
○学習課題に対して自分の考えをもつ。
○ノートやワークシートで取組を形として残す。
【教具の手立て】
・考える時間の確保　・手順や方法の説明
・机間指導で助言　・モデルの提示
生徒指導の視点
【自己決定の場の提供】
生徒が自ら考え、選択し、決定する体験

【集団】
○学習課題に対して考えたことを発表し合う。
○分からないことを聞き、教え合う。
○互いの考えを比較・検討したり、まとめたりする。
【教具の手立て】
・聴くための環境　・思考ツールの活用
・座席をくっつける　・司会や記録等の役割
生徒指導の視点
【自己存在感を感受できる配慮】
生徒が「一人の人間として大切にされている」実感
【共感的人間関係の育成】
自他の個性を尊重し、相手の立場に立てる人間関係

【全体】
○個人やペア・グループの意見を全体で交流する。
【教具の手立て】
・発表者への反応　・つぶやきを広げる
【自己存在感を感受できる配慮】
【共感的人間関係の育成】

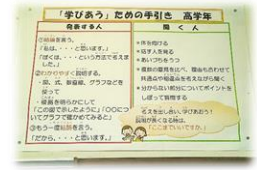
終末
学習の実現状況の確認
まとめや振り返りの時間の確定
○本時の学習に対するまとめや振り返りを行う。
【教具の手立て】
・キーワードの提示　・振り返りシートの活用
【自己決定の場の提供】
【自己存在感を感受できる配慮】

室戸中学校区　取組③

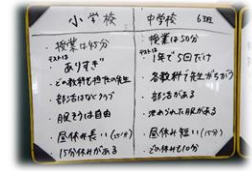
- **小中連携 → のりしろを意識した取組**

［取組］

推進リーダーの小学校訪問
小６アンケート（中学校生活）
中１プレゼン（小中の変化）
中学校教員の出前授業



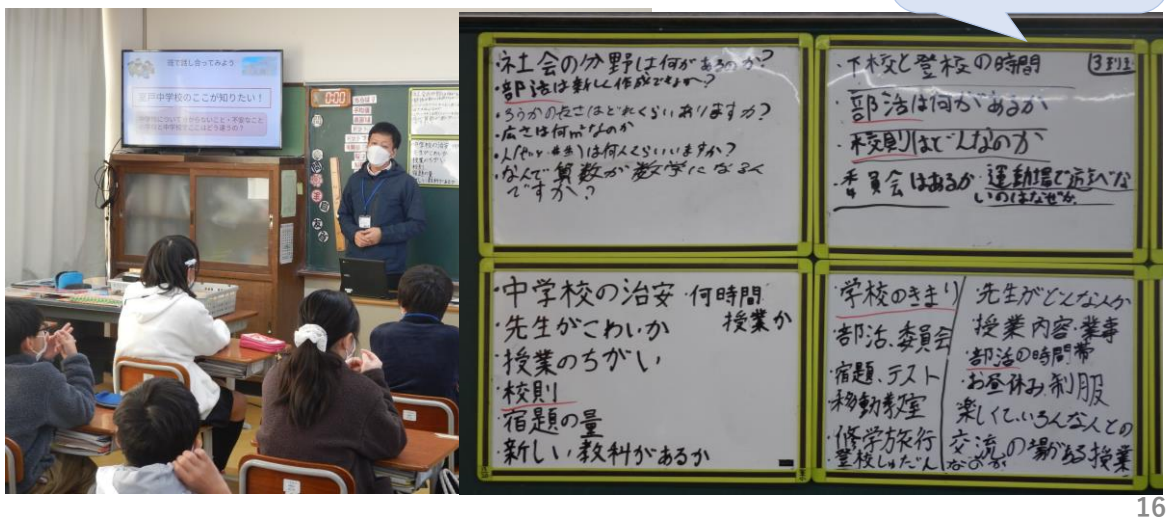




室戸中学校区　取組③

小6のアンケートを活用したリモート交流

中学校への不安や疑問がいっぱい出されました



室戸中学校区　取組③

小6のアンケートを活用したリモート交流



17

室戸中学校区　取組③

中学校の体験授業「英語」・・・中学校スタイルで



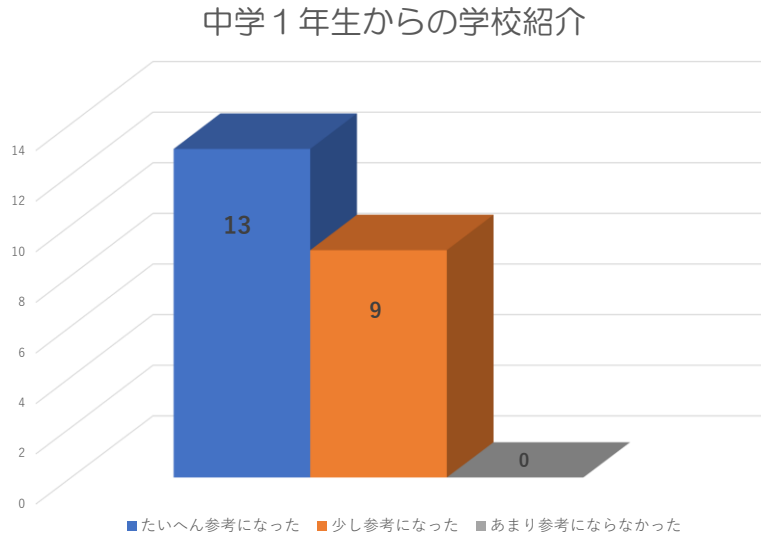
18

室戸中学校区　取組③

中学校の体験授業「体育」



中学１年生からの学校紹介　　事後アンケート結果から（５月実施）



紹介の中で役立った情報ランキング

１位　１６票
　部活動について

２位　　９票
　中学校の授業

３位　　８票
　中学校の先生紹介

４位　　５票
　校舎・学校の紹介

５位　　３票
　定期テストについて

アンケートの質問項目より

「中学生からの学校紹介」を受けて、入学してから
不安に感じていることに変化はありましたか。

・先生が厳しいと思っていたけど、優しいとわかった。
・学校の行事や生活についてわかった。
・部活動に不安があったけど、不安がなくなった。
・テスト期間があって、勉強時間が十分にあることがわかった
・先輩たちとのかかわりが意外とあることがわかった

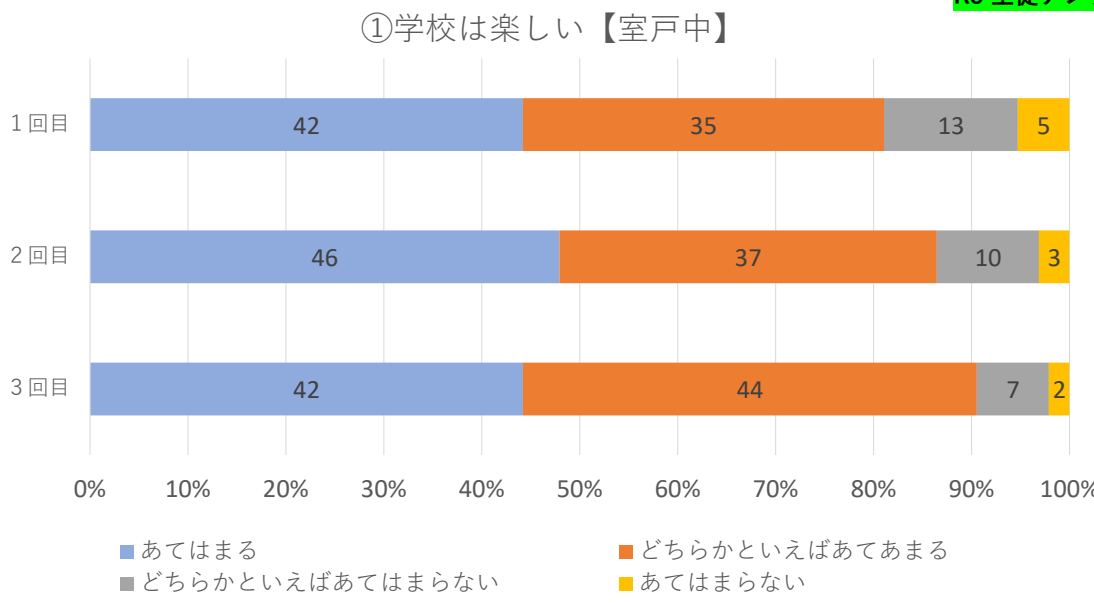
中学生になってみて、今年小学6年生に教えてあげたらいいことは何ですか

・先生について	・学校生活について	・授業のこと
・部活動のこと	・学校のルール・制服	・校舎のこと
・定期テスト	・中学校の掃除	・中学校と小学校の違い
・チャイム席	・勉強が大変なこと	・昼休みの体育館と中庭の使用

1．昨年度の生徒アンケートより

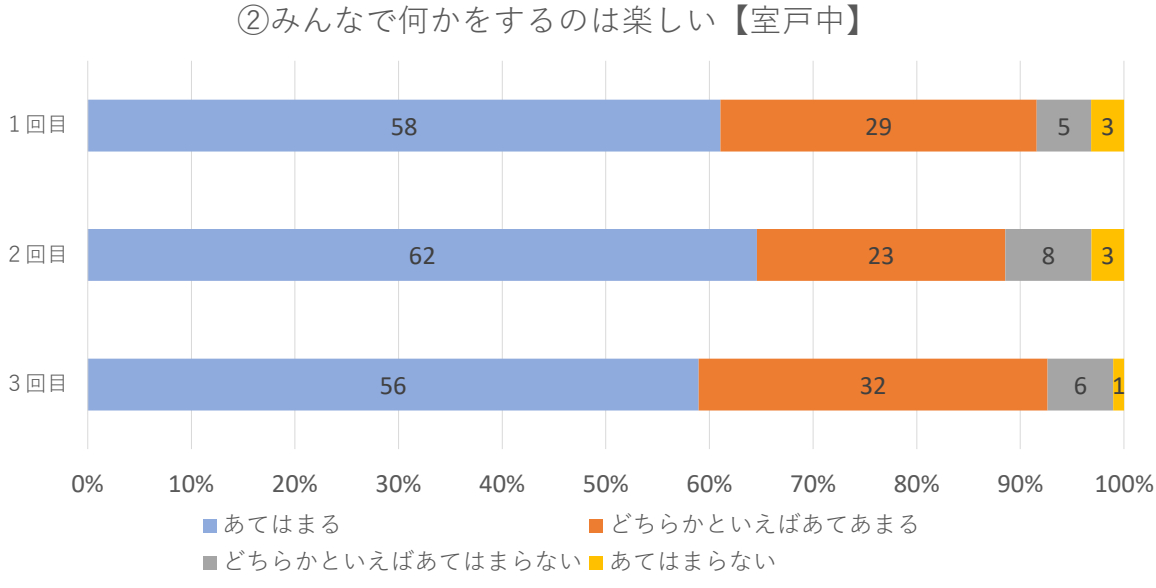
【アンケート項目】
・学校は楽しい
・みんなで何かをするのは楽しい
・授業に主体的に取り組んでいる
・授業がよくわかる

R5 生徒アンケートより



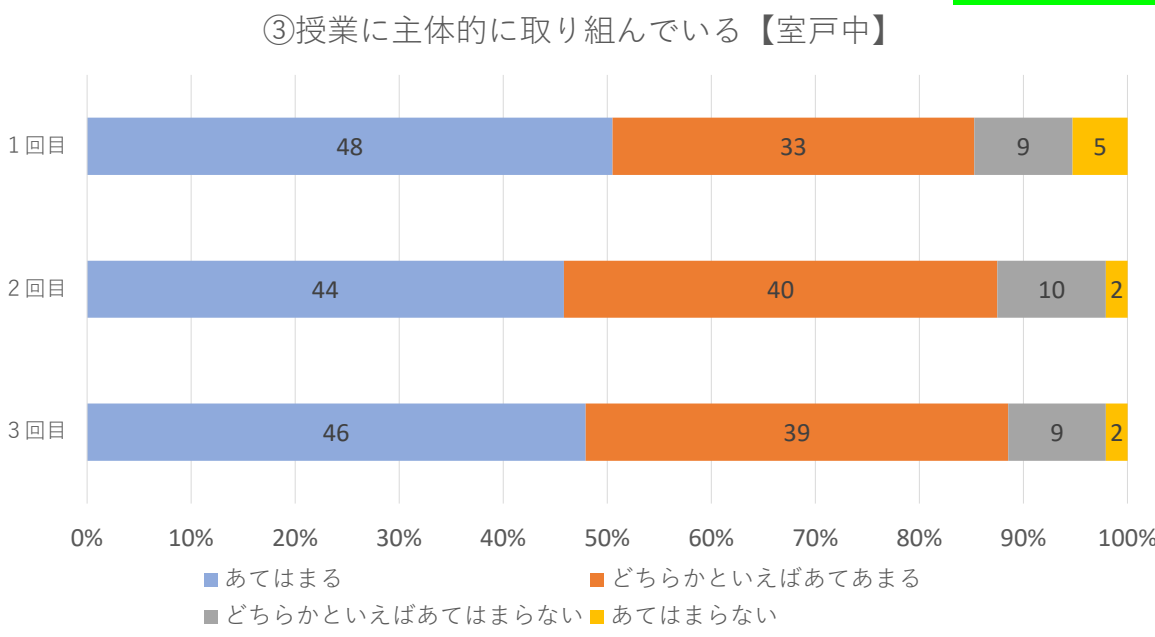
23

R5 生徒アンケートより



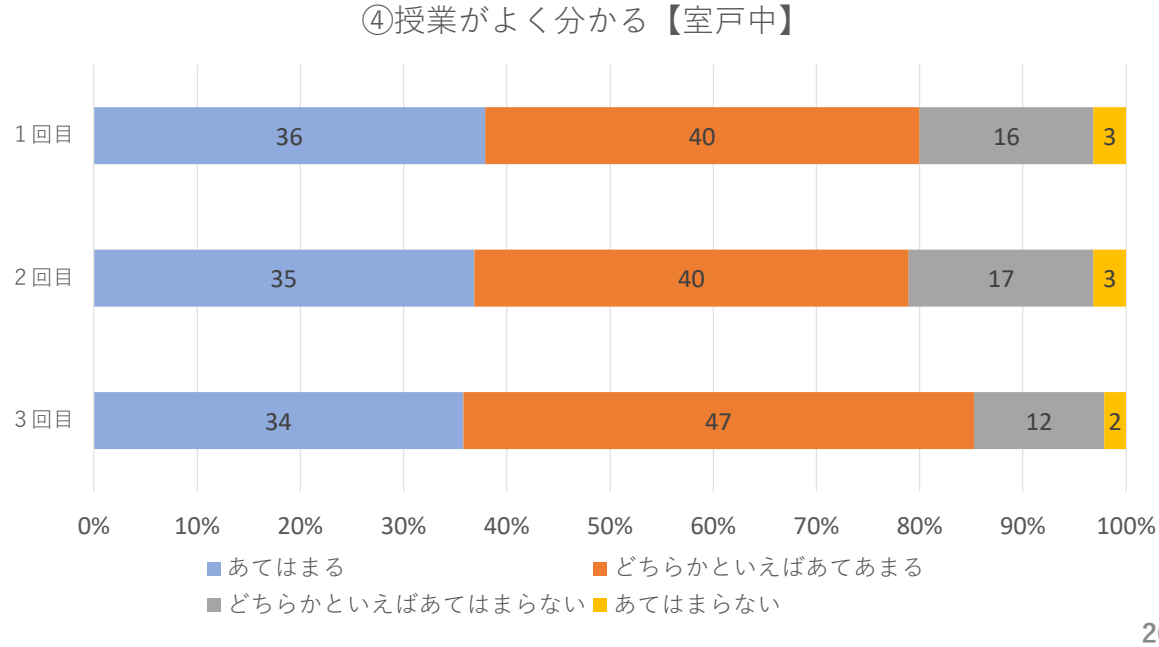
24

R5 生徒アンケートより



25

R5 生徒アンケートより



26

今年度の取組について

生徒主体による取組へ







5月30日（木）生徒会企画　　清掃活動＋新入生歓迎遠足

加力学習
与えられた学習から
自分で選ぶ学習へ

６月の加力学習	
１週目（３日～）	自由（５教科）
２週目（１０日～）	これ単
３週目（１７日～）	弱点強化
４週目（２４日～）	テスト対策



5月16日（木）
絆づくり授業　共同絵画